

草津市教育委員会会議録

平成28年11月定例会

(11月21日開催)

草津市教育委員会

出席委員	教育長	川那邊正
	委員	谷川尚己
	委員	周防直美
	委員	檀原泉

議事参与	政策監	佐々木亨
	教育部長	明石芳夫
	教育部理事	中瀬悟嗣
	教育部副部長（総括）	居川哲雄
	教育部副部長（歴史文化担当）	八杉淳
	教育総務課長	太田一郎
	生涯学習課長	増田高志
	スポーツ保健課長	岸本久
	文化財保護課長	藤居朗
	図書館長	北相模政和
	学校教育課長	時岡善也
	学校政策推進課長	高井育夫

事務局	教育総務課参事	松浦正樹
-----	---------	------

開会 午後 3時30分

川那邊教育長 それでは、ただいまから草津市教育委員会11月定例会を開会いたします。
なお、本日は杉江委員から欠席届が出ておりますことを御報告いたします。

—————日程第1—————

川那邊教育長 それでは議事に入りたいと思います。
日程第1、「会期の決定について」であります。本日1日限りといいたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

各委員 — 異議なし —

川那邊教育長 異議がないようですので、11月定例会は、本日1日限りといたします。

—————日程第2—————

川那邊教育長 次に、日程第2、「10月定例会会議録の承認について」であります。あらかじめ事務局から配付され熟読されていると思います。御異議ございませんか。

各委員 — 異議なし —

川那邊教育長 異議がないようですので、10月定例会会議録は承認されたものと認めます。

—————日程第3—————

川那邊教育長 次に、日程第3、「教育長報告」に移ります。
まずは、本市の姉妹都市「伊達市」との交流に関わってです。
伊達市との姉妹都市交流は、東日本大震災の復興を目的に、市内のNPOが開催した「草津故郷まつり」に伊達市が参加したことがきっかけとなっています。以来、産業や経済、防災などでの交流が行われていましたが、今回、伊達市の梁川美術館で開催されている「浮世絵」展に、草津市所蔵の東海道五十三次にかかわる浮世絵を展示するという文化面での交流が実現しました。展覧会の開会式には私も参加し挨拶をさせていただきましたし、街道交流館の八杉館

長の講演、そして岡田学芸員の浮世絵説明会も行われ、約50名の市民の皆さんで会場もにぎわいました。

次に、8日には、文部科学省から全国ICT教育推進自治体応援事業の指定を受けている松原中学校において、英語、社会、国語、理科の4授業が公開されたことについてです。いずれの学級でも電子黒板やタブレットを活用した授業が展開され、生徒も大変意欲的に学習しておりました。このことについては、参観いただいた委員さんから感想等をお話いただければと思います。

また、この公開授業には、県内はもちろん、北は秋田県八峰町から千葉教育長をはじめ12名が、また、南は沖縄県名護市、宮古島市からも多数参加いただきました。ほかにも福井県や愛知県などからも参加をいただき、参加者は、約100名にもなりました。当初学校だけの公開授業と思っていたのですが、大変興味を持たれるかたが多くて、大規模になったことを大変嬉しく思っています。今後も、全国でICTを進める自治体と連携し、着実な実践を重ねていきたいと思っています。

三つ目は道徳教育の研究発表大会についてです。17日には草津中学校で既に行われ、また24日には草津第二小学校で開催されます。小学校では平成30年度、中学校では31年度からこれまでの道徳の時間が教科となり、「道徳科」としてスタートしますが、そのことを見据えた研究です。草津中学校の情報モラル教育、草津第二小学校の「考える道徳・議論する道徳」への取組からは、道徳科の推進・充実への提案がありました。さらに、市内各学校の道徳教育推進教師も研究実践に加わっており、市内全体の充実に向けた取組となったことを大変頼もしく思っています。

ほかにも、学校における特徴的な取組を申し上げますと、草津市では、次期学習指導要領で取り入れられるプログラミング教育にもいち早く取り組む学校が見られます。草津小学校では立命館大学の教授と連携して進めていることが中日新聞に報道されていました。また、近畿音楽教育研究大会滋賀大会が大津、草津、栗東、守山を会場に開催され、志津小学校では歌声集会や授業公開等が行われました。また、渋川小学校の2年生の皆さんは、栗東芸術文化会館さきらで合唱奏を披露されました。

次に、スポーツ関係についてです。「第13回武道祭」が武道館で開催されました。また、5日間にわたる「チャレンジスポーツデー」も今、開催中です。さらに、各地域では運動会やふれあいまつりなど、地域の皆さんにとっても楽しみとなる行事等がもたれました。特に、老上学区では、老上小学校と老上西小学校の全校児童が製作した全長15メートル、高さ1.8メートルの巨大な立体作品「未来への道」が披露されました。小学校2校の友情が継続していることをほほえましく感じました。

最後に嬉しいお知らせですが、第48回中日教育賞を松原中学校の水谷哲郎教諭が受賞されました。中学校社会科の教育実践・研究で、「知識詰め込み型」の授業とは一線を画した議論を引き出す授業が評価されたと聞いております。

以上、報告とさせていただきます。

それでは、委員の皆様の方から11月にあった行事やその他教育全般に関する事項で、御感想などがございましたら簡潔にお願いしたいと思います。

檀原委員

檀原でございます。

私も11月8日の松原中学校のICTの公開授業に参加させていただきました。非常に生徒たちが熱心に取り組んでいる姿で、ほとんど遊んでいる子どもたちがないという状況は非常にすばらしいと感じました。

いろいろこれからまだどんどん進んでいく内容なので、課題もたくさんあると思うのですが、ぜひ多くの先生がたがこのよさを実感していただきながら広めていただけるといいのではないかなと思いました。

特に僕らのような年代の先生は、こういう新しいものにはちょっと違和感を感じるかたもおられるかもしれませんが、特に生徒たちの意見が一遍に見ることができると。いろんな異なる考えかたが共有できるということに関しましては、ベテランの先生にとっては非常に教えやすい教材なのではないかと。むしろ、細かな技術で悩まれるよりは、大きく捉えてこういう使いかたがいいなということを実感してもらえると、すばらしいのではないかなと思いました。

それと、八峰町から来られていた教育長の千葉先生は、たくさんのかたが八峰町には視察に来られる中に韓国からも来られていて、韓国ではICTを導入すると引きかえに黒板とかノートを廃止したために、かえって学びが薄くなってしまったという反省を、八峰町に来られたかたがおっしゃっていたということで、やはり今まで使っている黒板であったりノートとかというのも非常に大事にしながら、最終的に授業で得られたものはまとめていくとか、また自分のノートにしっかりしていくということが大事だということをおっしゃっていたわけです。ですから、特にベテランの先生なんかは今までされていた授業も非常に重要であるということ逆を若い先生にも教えていただけるような交流があれば、さらにこのICTが生きたものになるのではないかなと感じました。

それと、私が少し感じたことで、もしこれは共有していただけるとありがたいと思うことが幾つかあるのですけれども、大型電子黒板といいますが後ろの席からは若干見にくかったりします。非常に精度のいいものではあってもやはり子どもたちによっては視力の配慮が必要な場合もあるでしょうし、また場所、この集中して見るべきときは若干移動してでも見てもらえるような工夫

が必要だと。

そのためには先生がたの中で、このときは黒板をしっかり見なさいというような合図であったり、また各自が作業をするから今、黒板から目を離してもいいということがちゃんと分かるような指示を出していただくといいだろうなというのが一つ。

それと、一般的なプレゼンテーションにも言えることですが、**「白地に黒の文字」**というのは意外と見にくいんです。例えば、「青地に黄色い文字」やったら割と遠くからでも見えるとか、フォント一つをとりましても明朝体というのは遠くから見ると字が余り分からないがゴシック体にすると分かるとか、そこら辺は使っていただく中に、いいところと同時に反省点というのが恐らくたくさんの先生が感じておられると思うので、その辺の共有をしていただくといいだろうなというのが一つあります。

それと、先生がたは生徒たちが書いているものがタブレットで送られてくるのを一番最初に見られて、ここを注目しましょうということを生徒たちに言われるわけです。そのときは、先生は一応中身を知った上で生徒たちに指示を出されるわけですが、生徒たちはそれを聞いてからその画面を見ることとなりますので、読むタイミングとかが先生より若干遅れるわけなのです。そのときに、例えばその次の画面に移り変わるときに、ある程度時間をとってあげないと何が書いてあって、こういうことを先生は言おうとしているということを理解するまでには、若干間がかかると私はちょっと感じました。

ですから、プレゼンテーションでいろいろスライドを変えられるときには、若干ゆっくりめであったりとか、その生徒たちの様子を見ながらのタイミングをはかっていただくということは、これから使っていく中で気を付けていただけるといいやろうなと少し思いました。

それと、ICTの活用の中にやはり授業で使われると同時に、「予習的な復習」という形で、理解をする生徒たちのスピードの中には1回聞いただけですぐ分かってしまう生徒もあれば、初めて聞くことには戸惑いを感じる生徒というのがいると思いますので、そういうどちらかという初めのことに、すぐ授業に入り込めない生徒たちには、ICTを使うかどうかは別としても、そういう機会があるのならば、「今日はこういうことを勉強するというのをあらかじめ教えてあげるような形の『予習的復習』」という形で、ICTも活用できるといいのではないかなということを見させてもらいながら少し感じました。

それと、中学校の中で非常にすばらしい姿と同時に、教室には入れない生徒たちとか、少し落ち着きのないという状況の子どもたちもいたのは事実ですが、それを見ながら、最近、特別支援教育というのがスタートしたことから考えますと、多分この子どもたちももう少し早いうちから特別支援の恩恵を

受けていれば、現状としては非常に落ち着きのある学習態度ができたかなというのを思いますと、今で言いますと幼稚園とか保育園とかの子どもたちにも特別支援的な早期発見と早期対応、そして幼・小・中という形での切れ目のない対応が子どもたち一人ひとりにあると、今言われているインクルーシブな教育であったり、インクルーシブな社会が、より良きものになるのではないかなと感じたということです。

あと、ICTに関しましては玉川小学校の1年生がアニメーションのようなもののプログラミングをしている授業も拝見させていただきました。自分が描いた絵が二つの絵をつなぐことによって動いた、シャクトリムシが動くような何か不思議なことを、恐らく私たちの世代の親が見ると、「何で1年生がこんなことできるの」みたいな驚きを持って見るような授業だったのですが、非常に先々楽しみな授業がこれから始まろうとしていることに、大きな期待をするところでございます。

あと、もう一点、私は昨日、「That's HONJIN!」という、街道交流館と本陣を見させていただきまして、ぎりぎり最終日だったのですが、非常に行くたびに新しい発見をさせていただくので楽しみなところだと思うんです。特に「街道と交流」ということからしますと、日本中にはたくさんさんの街道があり、たくさんさんの宿場があるので、そちらから来られている人たちが恐らく草津にたくさん来られていると思いますので、そのような人たちが草津に来られた足跡を残していただくような、その一言を添えていただいたり、またいろんな街道のことを紹介して、草津の人にも教えてもらえるような何かおもしろい仕組みがあれば、さらにいいだろうなということを感じたところです。

ずっと静かに見て回ると同時にやっぱり時々、「どこから来たんですか」とか「何に関心をお持ちですか」みたいな声かけをしていただいて、ちょっと何か引っかかってくるようなことがありますと、またいろんな意味でこれからの企画に必要なことが発見できるのではないかと。

例えば、こういうことを私は興味を持っていますとか、こういうことを知りたいんですとおっしゃったら、次にまた企画を考えていただくときにも役に立つと思います。

それと、草津にはいろんな社寺がありますけれども、そのようなところの紹介なんかもしていただけるといいなと思っています。特に街道交流館のすぐ近くにある常善寺さんには、今はありませんが、関ヶ原で負けた石田三成がくくられて留め置かれたという、「三成がくくられた松」があったということも聞いておりますし、また立木神社は、春日大社ができるときに鹿島神宮から神様が来られる途中で「この地に立ち木をさされたこと」が立木神社になったとい

うエピソードが残っているということも聞いております。そのような非常に興味深いエピソードがたくさんありますので、そこら辺もまた何らかの形で紹介いただけるような工夫をしていただけると、さらに楽しい場所になるのではないかなと感じました。

以上でございます。

周防委員

小学校の図書室ボランティアに行っており、そこにほかのお母さんも来られているのですが、飾りつけが得意な方が図書室をきれいに飾りをつけて快適にしてくれていたり、そういう得意なことで学校に関わっていただいているんです。

先日、毎年ビブリオバトルにお手本か指導かで、子どもが卒業してからも授業に地域の大人として参加してくださるお母さんがいらっしやったり、あと昼休みに読み聞かせに月一、二回とかですが、来てくださるかたがいらっしやったりとか、そういうふう楽しんで保護者が関わっていけるような環境を大事にして、続けてもらえるような関係を学校と保護者がしていけたらいいなと思っています。

いじめの問題とか報道でもよくあるのですが、先日、福島原発事故で横浜に自主避難した男の子の手記が公表されました。親としてはすごく気になるような内容でした。やっぱり学校と保護者と子どもたちのコミュニケーション不足というか、先生は子どもの話をちゃんと聞く、気持ちに寄り添う、理解しようとする態度が足りないと感じてしまうと不信感を抱いてしまって、どんどんこじれてしまうんだなと改めて感じました。

やっぱり保護者も学校も、お互いにですが、信頼関係を築く努力が日頃から大事ではないかなと思いつつ、そういう報道を見ていました。

以上です。

谷川委員

先日、山田小学校へ行きましたところ、朝の会で先生が「今日の下駄箱は、90パーセント」と言われたんですね。僕は分からなかったのが後で教頭先生に聞いたんです。「何で90パーセントなんですか」と言うと、朝来て靴を入れるときにかかとをそろえて入れましょうというのを学校で取り組んでいるようです。そのクラスはその担任の先生は「今日は90パーセントやったね」ということはちょっと乱れているなということだったんだと思いますね。

あと、全部見せてもらったんですけど、1年生はちょっとばらけているところもあったんですけど、ほとんどきれいにそろっているなと思いました。

思い出したのがトイレに書いてある言葉があったんですね。「トイレのスリッパはそろえて置きましょう。乱れていたなら気が付いた人がそれを直しましよ

う。そうしたら、心は一つになるでしょう」ということを書いていて、ああ、そういうことまでつながっていくといいのかなと思いました。

もう一つは、草津市と草津市の教育委員会の後援をいただいて、私は主催者の立場だったんですけれども、滋賀県子育て学会というのを昨日、開かせていただきました。子育てにおける現状と課題ということで、六つの観点から提言してシンポジウムをしたのですけれども、60数名のかたに参加いただいて、参加者は保育園・幼稚園の先生が非常に多かったのですが、特に滋賀医大の小児科の栄養士の先生の話とか滋賀大学の睡眠の専門家の先生の話、あるいは小児科医の先生の話にはすごく反応がよくて議論ができましたし、保護者のかたの意見もいただきました。今後、アンケートも含めてすごく期待をしていただいていると思いましたので、また次も研修会みたいなものを開きたいと思えますけれども、引き続き後援をいただけるとありがたいなと思いました。

今、檀原さんからあったのですが、私らのメンバーの中には発達支援センターに勤めている職員もおりますので、次回はそれも含めて議論ができればなと思っています。

以上です。

川那邊教育長

ありがとうございました。

それでは、教育長報告については以上で終わらせていただきます。

————— 日程第4 —————

川那邊教育長

次に日程第4、「付議事項」に入ります。「議第51号 草津市通学区域審議会設置条例の一部を改正する条例案に対する意見を市長に申し出るにつき議決を求めることについて」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

学校教育課長

学校教育課の時岡でございます。「議第51号 草津市通学区域審議会設置条例の一部を改正する条例案に対する意見を市長に申し出るにつき議決を求めること」について御説明申しあげます。議案書は4ページから6ページでございます。

草津市通学区域審議会の委員構成は、現在学識経験者1名、草津市PTA連絡協議会の代表1名、草津市校園長会の代表1名、草津市まちづくり協議会代表13名、公募委員4名の計20名で構成されていましたが、平成28年4月から老上学区が分離し、老上西学区が新設されたため、草津市まちづくり協議会代表が14名となり、公募委員の割合が基準以下となりました。

また、市民参加条例施行に伴い、平成26年12月改選時に公募委員4名を

採用した結果、構成委員の偏りが生じています。

このことから平成28年12月の改選に合わせて見直しを行い、委員定数を現行の20人以内から25人以内に改正いたします。

議案書の5ページに新旧対照表がございます。

6ページの第3条のところが「委員20人以内」というところが「25人以内」になります。

また、第3条2の(3)に「草津市校園長会の代表」としてございますが、現在、草津市校長会と園長会が独立しており、それぞれの運営がなされることから名称の見直しを行い、現行の「草津市校園長会の代表」から「草津市校長会および草津市園長会の代表」へ改正するものでございます。

以上、まことに簡単ではございますが、説明とさせていただきます。御審議賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

川那邊教育長

ただいまの説明につきまして、何か御意見、御質問はございませんか。

各委員

－ 意見なし －

川那邊教育長

意見もないようですので、議第51号は「意見なし」として市長に回答することといたします。

次に、「議第52号 平成28年度草津市一般会計補正予算に対する意見を市長に申し出るにつき議決を求めることについて」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

教育総務課長

教育総務課の太田でございます。「議第52号 平成28年度草津市一般会計補正予算に対する意見を市長に申し出るにつき議決を求めること」につきまして御説明を申し上げます。議案書の8ページをお開きいただきたいと思います。

まず、今回の補正予算の概要でございますが、学校施設にかかわります規模の大きい工事につきましては、国からの補助金でございます学校施設環境改善交付金を財源の一部として工事を実施しておりますが、先般の国会で国が進めます未来への投資を実現する経済対策に基づく国の補正予算が成立し、来年度、予定しておりました全ての工事と、不採択となっておりました今年度の予算措置済みでございますが、小・中学校校舎棟非構造部材改修工事の補助金の内定を受けましたことから、増額補正と合わせて財源更正の予算計上を行おうとするものでございます。

また、次の議第53号議案にも関わる内容でございますが、草津市立草津ア

ミカホールと草津市立草津クリアホールの指定管理者の指定に伴い、指定管理料の債務負担行為補正を行おうとするものでございます。

いずれの内容につきましても、今月25日に開会いたします11月定例市議会に議案として提出いたしますことから、今回、本委員会の御意見を頂戴し、議決を求めるものでございます。

次に10ページ、11ページをお願いいたします。

まず、10ページでございますが、こちらは補正予算の一覧でございます。補正予算の内容といたしましては、まずこの一覧表の上から一段目の「事務事業名」が小学校施設維持管理費につきましてでございます。

来年度予定をしておりました草津第二小学校と南笠東小学校の校舎棟非構造部材改修工事と監理業務につきまして、補助金の内定を得ましたことから、2,401万7,000円を新たに予算計上し、また当初、不採択となっておりました玉川小学校と渋川小学校の校舎棟非構造部材改修工事につきましても国の補正予算に伴う補助金の内定を受けましたことから、地方債の財源充当率を当初の75パーセントから100パーセントに変更増額をいたしまして、一般財源を減額する財源更正を行おうとするものでございます。

次にその下でございますが、小学校大規模改造費につきましても、これも来年度予定をしておりました事業でございますが、志津南小学校大規模改造1期工事、玉川小学校グラウンド改修工事、老上小学校トイレ改修工事とそれぞれの監理業務を合わせて2億8,699万2,000円を新たに予算計上するものでございます。

次に中学校施設維持管理費につきましても、これも来年度、予定をしておりました工事でございますが、玉川中学校の校舎棟非構造部材改修工事と監理業務につきまして補助金の内定を得たことから、954万3,000円を新たに予算計上し、また当初、不採択になっておりました草津中学校の校舎棟非構造部材改修工事につきましても、同じく補助金の内定を受けましたことから、先ほどの小学校施設維持管理費と同様に、財源更正を行おうとするものでございます。

次に中学校大規模改造費につきましても、これも来年度予定をしておりました事業でございますが、松原中学校と老上中学校の大規模改造工事とそれぞれの監理業務を合わせて6億5,013万6,000円を新たに予算計上するものでございます。

なお、いずれの工事につきましても、学期中の工事施工は困難でございますことから、繰り越しの予定をいたしております。

次に11ページをお願いいたします。

こちらは債務負担行為補正でございます。草津市立草津アマカホールと草津

市立草津クリアホールの指定管理者の指定に当たり、指定期間における指定管理料3億3,150万円の予算を確保するためのものがございます。

限度額3億3,150万円の財源内訳といたしましては、一般財源として、2億8,996万4,000円、県の補助金といたしまして4,000万円、あと使用料等の収入といたしまして153万6,000円でございます。

なお、指定管理者の指定に関する内容につきましては、次の議案で御説明申しあげます。

以上まことに簡単ではございますが、説明とさせていただきます。御審議賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

川那邊教育長

ただいまの説明につきまして、何か御意見、御質問はございませんか。

谷川委員

大規模改造工事、中学校がありますけど、これはどの部分で、あと中学校でまだのところはあるのですか。

教育総務課長

教育総務課の太田でございます。

まず、大規模改造工事、松原中学校の部分でございますが、松原中学校が今回工事を行おうとする部分につきましては特別校舎棟でございます。1階から3階までございますが、そちらの大規模改造工事を行うようにするものでございます。

あと、老上中学校につきましても、ちょうど校舎の配置からいきますと東側でございますが、特別教室がたくさんある4階建ての建物ところの改修工事をするものでございます。

それと、今後の予定でございますが、大規模改造工事につきましては、この建築後、大体25年以上を経過したものから順番に繰り返し行っていくものでございますが、近々の予定といたしましては、その次には常盤小学校の体育館であったり、あと松原中学校でございますが、武道館、それから、その次の年度については玉川中学校、草津中学校、草津第二小学校を計画しているところでございます。

以上でございます。

川那邊教育長

よろしいでしょうか。

谷川委員

分かりました。

川那邊教育長

他に御意見はございませんか。

各委員

－ 意見なし －

川那邊教育長

意見もないようですので、議第52号は「意見なし」として市長に回答することといたします。

次に、「議第53号 草津市立草津アミカホールおよび草津市立草津クレアホール指定管理者の指定議案に対する意見を市長に申し出るにつき議決を求めることについて」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

生涯学習課長

それでは、「議第53号 草津市立草津アミカホールおよび草津市立草津クレアホール指定管理者の指定議案に対する意見を市長に申し出るにつき議決を求めることについて」につきまして、生涯学習課の増田が御説明申しあげます。議案書の13ページ、14ページを御覧ください。

当課が所管しております草津アミカホールと草津クレアホールにつきましては、地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき、指定管理者に施設の管理運営を委託しておりますが、平成28年度末で現在の指定管理期間が終了しますことから、11月定例会市議会において次期指定管理者の指定議案を提出するに当たりまして、今回教育委員会の議決を求めるものでございます。

指定管理者の選定につきましては、平成28年10月14日に指定管理者選定委員会を開催し、指定管理者の候補者として公益財団法人草津市コミュニティ事業団が選定されました。

なお、指定管理期間につきましては、平成29年4月1日から平成32年3月31日の3年間でございます。

以上、簡単でございますが、説明を終わらせていただきます。審議賜りますよう、よろしく御願ひ申しあげます。

川那邊教育長

ただいまの説明につきまして、何か御意見、御質問はございませんか。

各委員

－ 意見なし －

川那邊教育長

意見もないようですので、議第53号は「意見なし」として市長に回答することといたします。

—————日程第5—————

川那邊教育長

それでは、日程第5「報告事項」に入ります。事務局より報告願います。

教育総務課長

「報告事項（１） 寄付受入れについて」、教育総務課の太田が御報告申しあげます。報告書の２ページを御覧いただきたいと思います。今回は６件いただいております。

１件目は滋賀銀行様の商品でございますＣＳＲ私募債を活用した寄付でございますが、オウミ住宅株式会社様より老上小学校へ簡単テントと附属品の加重プレートを、南笠東学区自治連合会会長の川瀬善行様より南笠東小学校へユニット掲示板を、そして公益財団法人深尾理工教育振興財団代表理事の今井絃一様より草津第二小学校へ、てこのはたらき実験器ほか２点を、草津第二小学校教育振興会会長の山本祐子様より草津第二小学校へ折りたたみパイプ椅子と傘立てを、そして公益財団法人深尾理工教育振興財団代表理事の今井絃一様より老上西小学校へインターバルレコーダー「レコロ」ほか３点を、最後に矢橋町の草川薫人様より老上西小学校に児童用図書を寄贈いただいております。

以上でございます。

川那邊教育長

ただいまの報告事項につきまして御質問はございませんか。

それでは、以上をもちまして本日の議事は終了となりますが、ほかにございませんか。

生涯学習課長

生涯学習課の増田でございます。お配りをしておりますオレンジ色のチラシでございます。

１１月２７日の日曜日、この日曜日でございますけれども、午後１時３０分から草津アマカホールで、草津市青少年育成市民会議主催の草津市青少年育成大会が開催されます。家庭と学校、地域が一丸となって青少年の健全育成に取り組んでいけるよう、意識向上と研鑽を深めるための目的で毎年開催をされております。

内容といたしましては、青少年育成に取り組んでこられたかたへの表彰、それからあいさつ運動、啓発作品の優秀者への表彰、それと地域での青少年活動の事例発表が行われます。

また、あわせて家庭教育、子育てをテーマにした講演会も行いますので、ぜひとも御参加いただきますよう、御案内を申しあげます。

以上でございます。

文化財保護課長

文化財保護課の藤井でございます。本日記者発表させていただいた内容について御説明申しあげます。

お手元にＡ４の資料、ホッチキス止めにしたものがございますが、発掘調査

成果の報告でございます。現在、南草津駅の南側一帯で南草津プリタウム土地
区画整理事業というのが計画されておりまして、その事前に発掘調査をやっ
ております。そこでの成果でございますが、奈良時代の長舎と呼ばれる大きな建
物、全長45メートル、幅6メートルの建物と古代の道路状遺構が見つかって
おります。幅12メートルの道路でありまして、当時としては最大クラスの道
路ということございまして、当時、東山道という主要官道がありました。そ
れがそのあたりを通っていたという今までの説がありまして、具体的にその可
能性のある道路遺構が見つかったということで、今回発表させていただいてお
ります。

これにつきましては現地での説明会も計画しておりますので、今度の土曜日
ですが、26日の土曜日の午後1時半から現地での説明会を開催させていただきます。

それとあわせましてもう一枚、A4、1枚だけの資料を付けさせていただい
ております。「草津の古代を掘る」ということで、毎年、発掘調査成果の報告
会をさせていただいているのですけれども、このときに今回見つかりました道
路遺構をテーマにしまして、古代の道を考えるということで講演と調査成果の
報告会を計画しておりますので、ぜひとも参加していただけたらと思いま
す。

よろしく申し上げます。

川那邊教育長

それでは、これもちまして11月定例会を終わらせていただきます。次回
は12月19日月曜日の午後3時15分から定例会を開催する予定ですので、
よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

閉会 午後 4時10分